

2022 東北復興支援スタディツアー

【実施日】7月18日（月）海の日

【日程】

6:00 学校発（牛久駅西口経由）

10:30 深沼海岸慰霊塔（宮城県仙台市若林区）前到着、黙とう

⇒現地コーディネーターから海岸清掃について説明

11:00 深沼海岸清掃、海ゴミ図鑑作成

（同時に募金時配付するレジンアート素材になるマイクロプラスチックも回収）

12:30 昼食（於 海岸公園センターハウス）

深沼での塩作りの動画を視聴後、各自で深沼ソルトを使ったおにぎり制作、試食。

13:20 「荒沼に1年を通じて人を集めるプロジェクト」ワークショップ

各グループで話し合い、上記テーマについてアイデアを提案した。

14:00 震災遺構・荒浜小学校 見学

15:15 終了、集合写真撮影

15:30 荒浜小学校出発

20:00 学校着（牛久駅西口経由）

今年は天候にも恵まれ、予定していた屋外活動（海岸清掃など）に加え、荒浜小学校では震災当日住民が避難した屋上まで見学させて頂くことができ、大変充実した内容となった。生徒も深く感銘を受けていた。





生徒メッセージより・(抜粋1)

今回の東北復興支援スタディツアーへのご協力ありがとうございました。震災当時の被災地の状況や復興への取り組みについてのお話を聞いて改めて3・11について学ぶことができました。また、海辺で水遊びをする人たちやBBQを楽しむ人々の姿を見て荒浜が賑わうところを見ることができました。庄子さんや館長さんのお話にもあったようにもう以前荒浜に住んでいた人々がまた戻ってきて暮らすのは無理だけれど、例えばBBQができることやJRによるビニールハウスなど色々な企業や団体によって荒浜がもっと人々の笑顔と活気溢れる場所になったところを見てみたいと思いました。これからも復興に向けて頑張ってください。応援しています。

生徒メッセージより・(抜粋2)

私には東北復興支援スタディツアーを終えて学んだことが2つあります。1つ目は荒浜小学校という唯一残った荒浜のシンボルに対する人々の願いです。「ただの被災した小学校や地区に地区としてくられるのは悲しい。実害以上に失ったものもある。」この言葉を聞いて思ったのは、自分はまだ表面しか理解していなかったんだと痛感しました。2つ目は復興についてです。自分は今まで復興とはその場所に再び住んだり、人が戻ってくることだと考えていました。ですが、今回のスタディツアーでそれだけが復興ではないんだと知ることができました。復興とは、地元の人々が主体となって初めて復興といえるようになるというのが私の考えです。今回学べたことは友達や家族としっかり共有したいと思います。